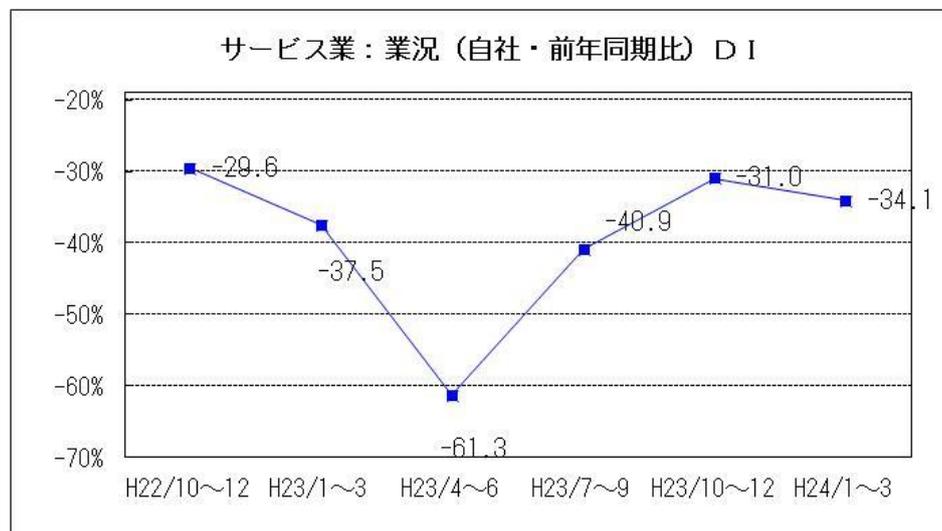


5. サービス業の動向

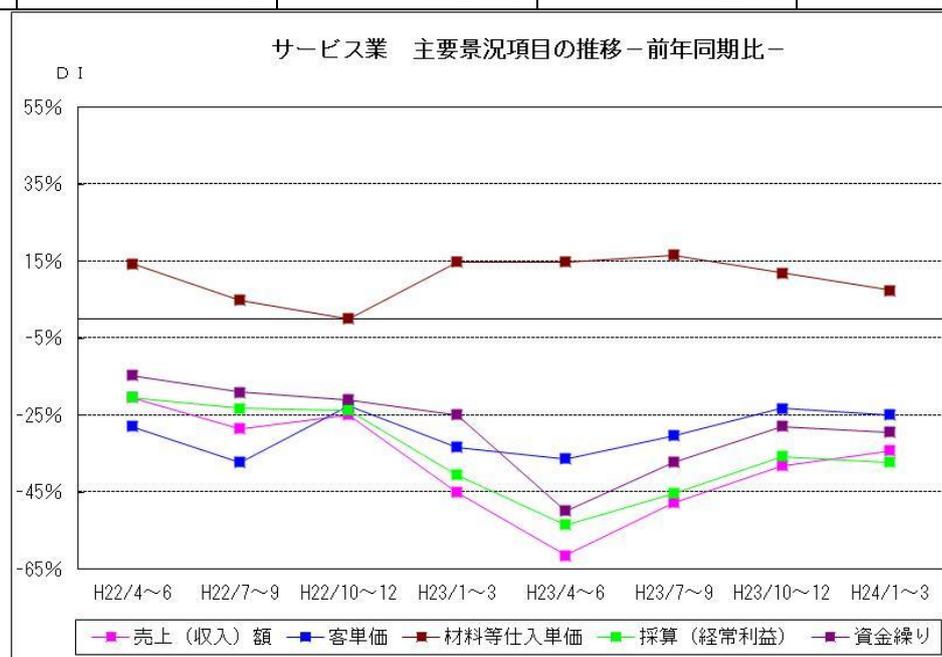
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス31.0。前期マイナス40.9から9.9ポイント上昇し、回復した。来期見通しはマイナス14.3とさらに回復の見込み。



サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

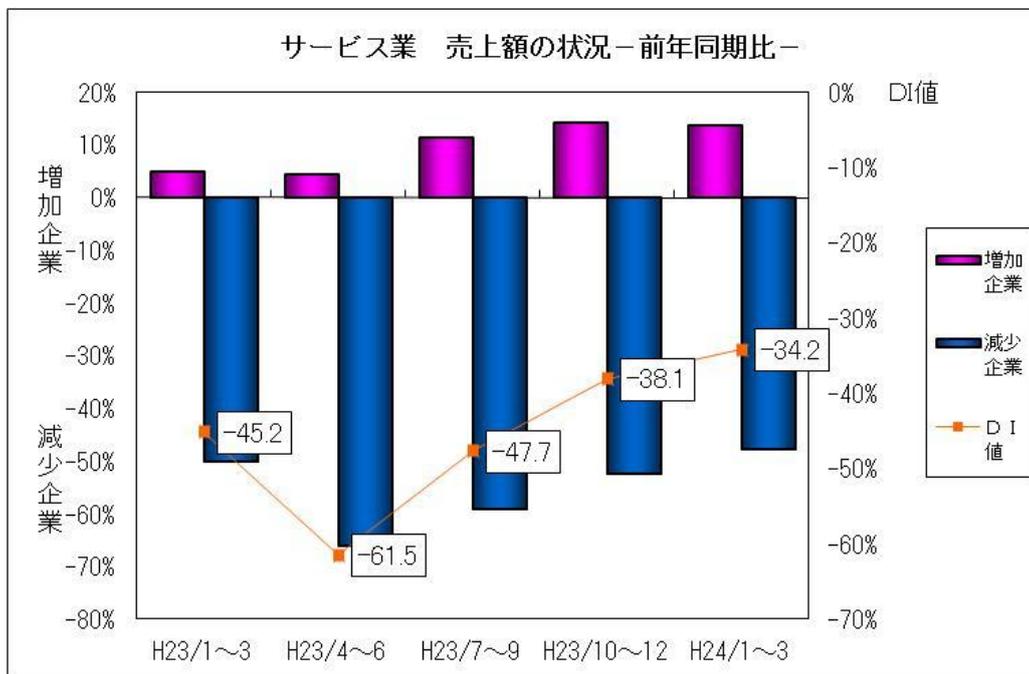
	前々期 (23年7月~9月)	前期(A) (23年10月~12月)	今期(B) (24年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲47.7	▲38.1	▲34.2	3.9	▲25.6
客単価	▲30.3	▲23.3	▲25.0	1.7	▲16.6
材料等仕入単価	16.6	11.9	7.4	▲4.5	7.2
採算(経常利益)	▲45.3	▲35.7	▲37.2	▲1.5	▲24.3
資金繰り	▲37.2	▲27.9	▲29.5	▲1.6	▲9.5



(2) 主要項目の概況

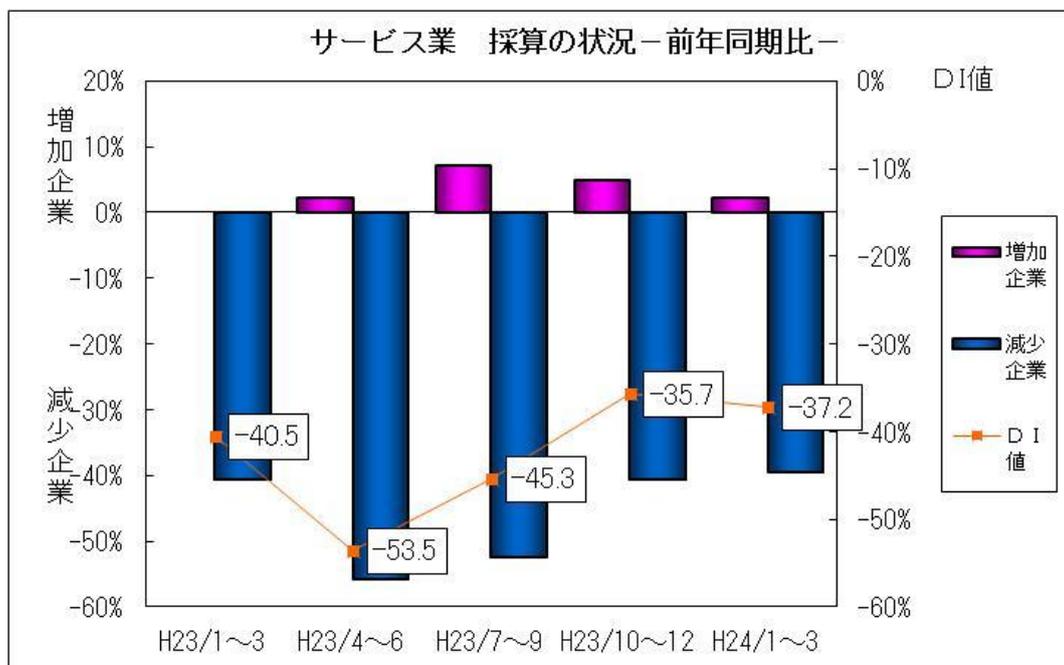
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額DI値は、マイナス34.2。前期のマイナス38.1から3.9ポイント上昇し、回復した。来期見通しは、マイナス25.6とさらに回復の見込み。



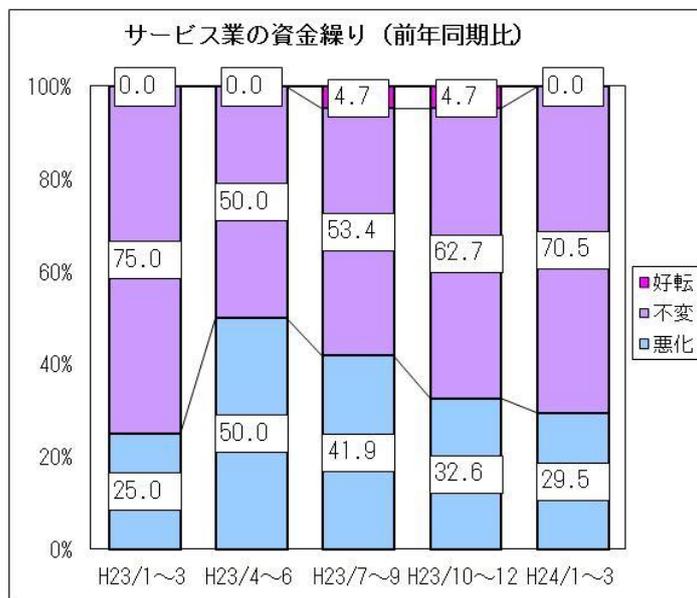
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス37.2。前期のマイナス35.7から1.5ポイント下落した。来期見通しは、マイナス24.3と回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス 29.5。前期のマイナス 27.9 から、1.6 ポイント下落した。来期見通しはマイナス 9.5 と回復の見込み。

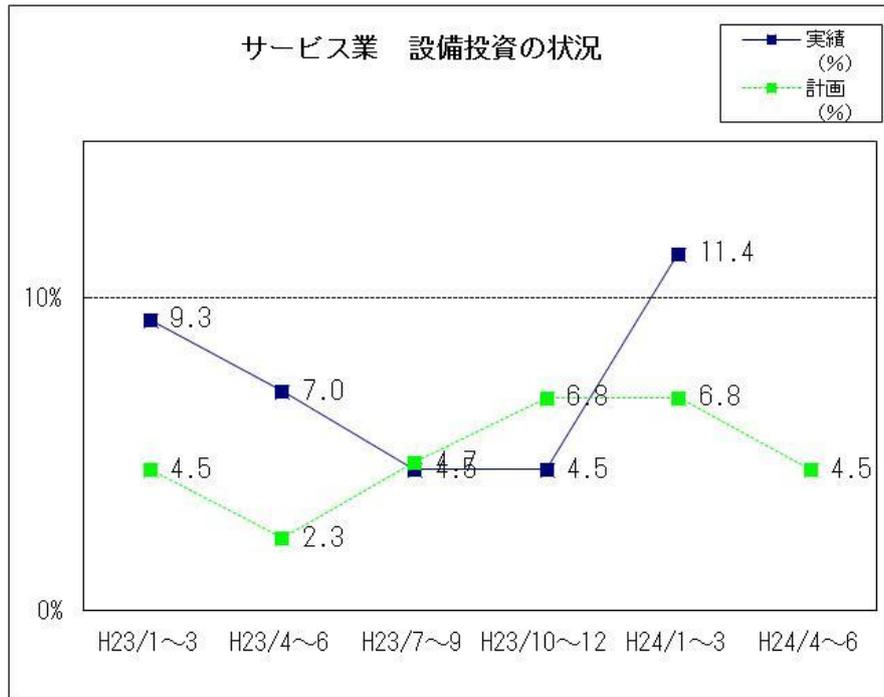


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	サービ ス	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他	
前期実施 (実数)	2	0	0	1	0	1	0	0	0	42
(%)	4.5	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	95.5
今期実施 (実数)	5	0	1	2	0	1	1	0	1	39
(%)	11.4	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	88.6
来期計画 (実数)	2	0	1	1	1	0	1	0	0	42
(%)	4.5	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	95.5

今期設備投資を実施した企業は 5 社 (11.4%)。前期 (平成 23 年 10~12 月期) の実施企業と同数。来期は 2 社 (4.5%) が建物、サービス、車両・運搬具、OA 機器への投資を計画している。

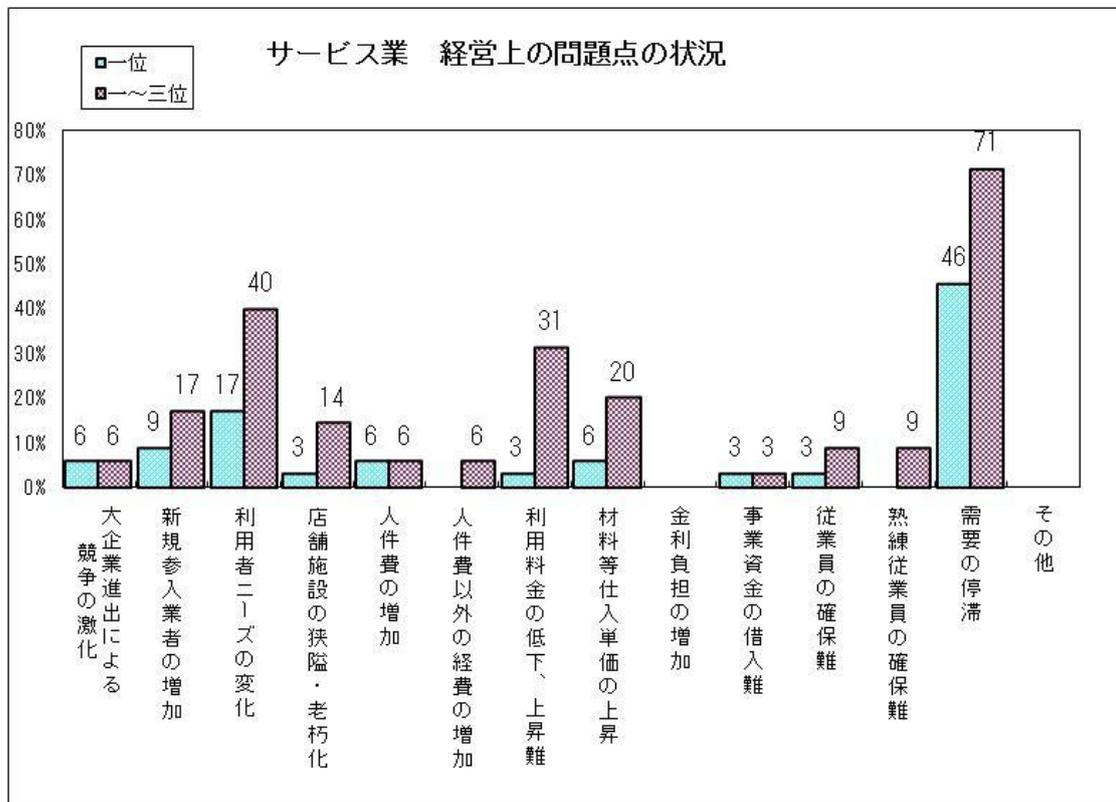


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 44.1%→今期 71.4%)
- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 29.4%→今期 40.0%)
- ・ 「利用料金の低下、上昇難」 (前期 38.2%→今期 31.4%)

となっている。



以上